
生活の場と看護Ⅱ

前 馬 理 恵 教授
谷 野 多見子 講師
矢 出 装 子 助教

2 年次前期・必修

1 単位・15 時間

【概要・目標】（地域・在宅看護論：在宅看護学）

地域で生活する在宅療養者と家族を理解し、その人らしく生活することを支える看護の基盤となる概念を学ぶ。

- 1) 在宅看護の背景および基盤を理解する。
 - 2) 健康障がいをもつ地域生活者とその家族を理解する。
 - 3) 在宅療養者が地域で生活し続けることを支援する看護の役割を理解する。
 - 4) 地域における在宅療養者を支える保健医療福祉の連携について理解する。
-

【授業内容のスケジュール】

- 1) 在宅看護の概念 在宅看護とは
- 2) 健康障がいをもつ地域生活者とその家族 ー対象者の理解ー
- 3) 地域生活を支える看護（1）ー小児期の療養者ー
- 4) 地域生活を支える看護（2）ー成人期の療養者ー
- 5) 地域生活を支える看護（3）ー高齢期の療養者ー
- 6) 地域で生活する療養者と家族の QOL
- 7) 訪問看護ステーションにおける看護活動ー実践事例を通してー
- 8) 地域生活の場で療養する人々を支える看護の場と社会資源および体制

【評価】

筆記試験 90%、授業参加状況 10%

【教科書】

臺 有桂他編：「地域療養を支えるケア」第 6 版 メディカ出版

【推薦参考図書】

随時紹介します。